

Q84

手術部位感染 (SSI) サーベイランスの具体的な方法について教えてください。

A

SSIサーベイランスは術後感染を起こした患者に関するサーベイランスで、術式や、手術部位の汚染度、手術時間、手術前の患者の状態などの手術における感染リスクによって感染率が異なることから、通常は術式、感染リスクで層別化して感染率を算出し比較します。具体的には、ある術式で手術を受け、あるリスク因子(通常は指数化)をもつ患者のうち手術部位感染を起こした患者数を、その術式で手術を受けた患者のうち同レベルのリスク因子を持つ患者数で除し100をかけて手術部位感染率を算出します。術式やリスク指数の分類、手術部位感染の診断基準はCDCの定めるNNIS(米国内感染サーベイランスシステム)の基準、あるいは日本環境感染学会で定めるJNIS(日本院内感染サーベイランスシステム)の基準に基づいて行います。術後の観察期間は30日間あるいは退院するまでとされています。

文献

- 1) 厚生省医薬安全局安全対策課：院内感染対策サーベイランス実施マニュアル，2000
- 2) 小林寛伊，廣瀬千也子監訳：サーベイランスのためのCDCガイドライン NNISマニュアルより。メディカ出版，大阪，1998
- 3) 小西敏郎，ほか：JNIS委員会報告・日本病院感染サーベイランスの試行．環境感染 2000; 15(4): 269-273
- 4) 森兼啓太，ほか：JNIS委員会報告(2)・日本病院感染サーベイランスの現状．環境感染 2002; 17(3)：289-293
- 5) CDC NNIS System : National nosocomial infections surveillance (NNIS) system report, data summary from January 1990~May 1999, issued June 1999. Am J Infect Control 1999; 27(6): 520-532

(岩田 敏)